

6. 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ◎評価	資料		
つかむ	1. 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 昔の道具を見たり、さわったりして、使い方や昔の暮らしについて考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことをグループごとに発表する。 ・見学の約束を確認する。 	10分	○前時に、博物館でもっと詳しく調べたいことを十分に話し合わせ、課題意識を高めておくようにする。			
	し ら べ る	2. グループや個人で、昔の生活用具や生産用具の種類や使い方を調べる。(博物館・エントランスホール) <ul style="list-style-type: none"> ・用具の絵をかく。 ・解説文を呼んだり、学芸員の説明を聞いたりして、使い方を調べる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 生活用具 ・身につけるもの ・台所用品 ・住まいで使うもの等 </td> <td style="padding: 5px;"> 生産用具 ・稲作に使うもの ・養蚕に使うもの ・漁業に使うもの等 </td> </tr> </table>	生活用具 ・身につけるもの ・台所用品 ・住まいで使うもの等	生産用具 ・稲作に使うもの ・養蚕に使うもの ・漁業に使うもの等	35	○見学の際のマナーについては、事前に指導しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・展示物を大切にす。 ・メモには、鉛筆を使う。 ・触っていいものとそうでないもの ・質問の仕方 等 ○博物館資料(生活用具・生産用具)を十分に調べる時間をとり、古い道具にも昔の人の知恵と工夫がこめられていることに気づかせるようにする。 ○学芸員の方と事前の打合せを十分にを行い、使い方や道具の特徴について、児童が理解しやすいように提示する。 ◎昔の道具を観察したり、質問したりして、調べることができたか。(観察、記録カード)
生活用具 ・身につけるもの ・台所用品 ・住まいで使うもの等	生産用具 ・稲作に使うもの ・養蚕に使うもの ・漁業に使うもの等					
ま と め る	3. 機織り機の使い方を体験する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員の方の指導のもと、布を織ってみる。 	35	○「機織り」を実際に体験することを通して、昔の道具の使用は、技術や根気が伴うことをとらえさせるようにする。また、これらの道具を使いこなしていた昔の人々の暮らしはどのようなものであったか、考えさせる。	まぶしおり機 てんのうじのこ にぐら のぞきばこ さおばかり はたおり機		
	4. 調べたことや体験したことをもとに昔の暮らしの様子について気づいたことを発表する。	10	○調べたり、体験したりして、分かったことや感じたことを数多く発表させる。 ◎昔の道具を調べたり、体験したりすることを通して、昔の生活の様子を考えることができたか。(発表)			